

公益財団法人 檜の芽会 御中

## 令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

|                         |                         |        |                 |
|-------------------------|-------------------------|--------|-----------------|
| 【団体の概要】                 |                         | ① 作成日  | 令和 8 年 5 月 27 日 |
| ②法人・団体名                 | 一般社団法人神戸みらい学習室          |        |                 |
| ③団体所在地<br>(都道府県・市町村名まで) | 〒651-2243<br>神戸市西区井吹台西町 |        |                 |
| ④責任者氏名                  | 佐々木 宏昌                  | (役職名等) | 代表理事            |
| ⑤担当者氏名                  | 箕浦 典子                   | (役職名等) | 事務担当            |

|                     |                                                                                  |       |        |          |    |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------|--------|----------|----|
| 【奨学活動の概要】           |                                                                                  |       |        |          |    |
| ⑥助成交付決定番号           | R07-038                                                                          | ⑦助成金額 | 150 万円 | ⑧申請カテゴリー | DS |
| ⑨奨学活動名              | 経済的な事情など様々な困難を抱える中高生への地域型学習支援                                                    |       |        |          |    |
| ⑩主な実施場所名・<br>及びその住所 | ①学園都市校：神戸市西区学園西町 1-1-2F（神戸市外国語大学サライト）<br>②住吉校：神戸市東灘区住吉東町 5-1-16（神戸市東灘区文化センター会議室） |       |        |          |    |

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

経済的な事情など様々な困難を抱える中高生を対象に無料学習支援を全 50 回×2 教室開催：①生徒と講師の特性に応じた最適マッチングを毎週実施。②大学生講師が高校や大学生活を通じて勉強する意味をプレゼンする「夢ゼミ」を 10 回、③模試受験 3 回・保護者面談・小論文面接対策を実施。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3-2 等でご報告願います。）

| 支援対象   | 延べ人数<br>(A：人) | 平均時間<br>(B：時間) | 活動量<br>(A x B) | 備考・補足・計算根拠等                               |
|--------|---------------|----------------|----------------|-------------------------------------------|
| 中学生等   | 1,440         | 3              | 4,320          | 1,440 人＝平均 30 人/回 x 1 回/週 x 4 週/月 x 12 ヶ月 |
| 高校生等   | 240           | 3              | 720            | 240 人＝平均 5 人/回 x 1 回/週 x 4 週/月 x 12 ヶ月    |
| 大学生等   | -             | -              | -              |                                           |
| 学習支援員等 | 1,440         | 3              | 4,320          | 1,440 人＝平均 30 人/回 x 1 回/週 x 4 週/月 x 12 ヶ月 |
| その他    | 480           | 4              | 1,920          | 480 人＝平均 10 人/回 x 1 回/週 x 4 週/月 x 12 ヶ月   |
| 合 計    |               |                | 11,280         |                                           |

⑬その他の定量的な数値（任意）

- ・受講生数 学園都市校：中学生 40 名、高校生 9 名  
住吉校：中学生 18 名、高校生 5 名
- ・進学実績 学園都市校：高校 18 名（公立一般 7 名、公立推薦 2 名、私立 9 名）  
大学等 4 名（兵庫県立大学、関西学院大学、神戸女子大、看護学校）  
住吉校：高校 4 名（公立一般 1 名、公立推薦 2 名、私立 1 名）

## 令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

### 奨学活動名：経済的な事情など様々な困難を抱える中高生への地域型学習支援

法人・団体名：一般社団法人神戸みらい学習室

作成者 氏名：佐々木 宏昌

#### 1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

経済事情など様々な困難を抱える中高生を対象にマンツーマンの無料学習支援を実施：①生徒と講師の特性に応じた最適マッチングを毎週行うとともに、②大学生講師の高校や大学生活を通じて勉強する意味を考える「夢ゼミ」、③模試受験代助成・保護者面談・小論文面接対策など、受験に向けて地域の大人が全力で寄り添い、励まし、伴走する質の高い地域型学習支援の実施および拡大に取り組みました。

#### 2. 実施した奨学活動の詳細

##### (1) 学園都市校の運営（神戸市西区：西部拠点） 平成 29 年 8 月開校（9 年目）

①場所：神戸市外国語大学サテライト教室（市営地下鉄学園都市駅前）

②日時：毎週日曜日 13 時～17 時（全 50 回）

③2025 年度末

・受講生数 49 名（3 年 18 名、2 年 9 名、1 年 13 名、高校生 9 名）

・講師数 32 名（神戸市外大 11 名、神戸大 2 名、兵庫県立大 1 名、立命館大 1 名、関西学院大 1 名、星陵高校 1 名、社会人 15 名）

・スタッフ 11 名（神戸市職員 3 名、兵庫県職員 1 名、民間企業等 7 名）

④進学実績 高校 18 名（公立一般 7 名、公立推薦 2 名、私立 9 名）

大学等 4 名（兵庫県立大学、関西学院大学、神戸女子大、看護学校）



学園都市校の様子

##### (2) 住吉校の運営（神戸市東灘区：東部拠点） 平成 30 年 4 月開校（8 年目）

①場所：東灘区文化センター（JR 住吉駅前）

→コープこうべ シーア（JR 住吉駅ビル 5 階）2026 年 1 月移転

②日時：毎週日曜日午後 13 時～17 時（全 50 回）

③2025 年度末

・受講生数 23 名（3 年 4 名、2 年 8 名、1 年 6 名、高校生 5 名）

・講師数 16 名（神戸大 3 名、近畿大 1 名、甲陽高校 1 名、社会人 11 名）

・スタッフ 3 名（兵庫県職員 1 名、民間企業等 2 名）

④進学実績 高校 4 名（公立一般 1 名、公立推薦 2 名、私立 1 名）



住吉校の様子

### (3) 支援の充実

① 夢ゼミ（大学生講師が、自身の体験や学生生活を通じて勉強する意味を考える）：

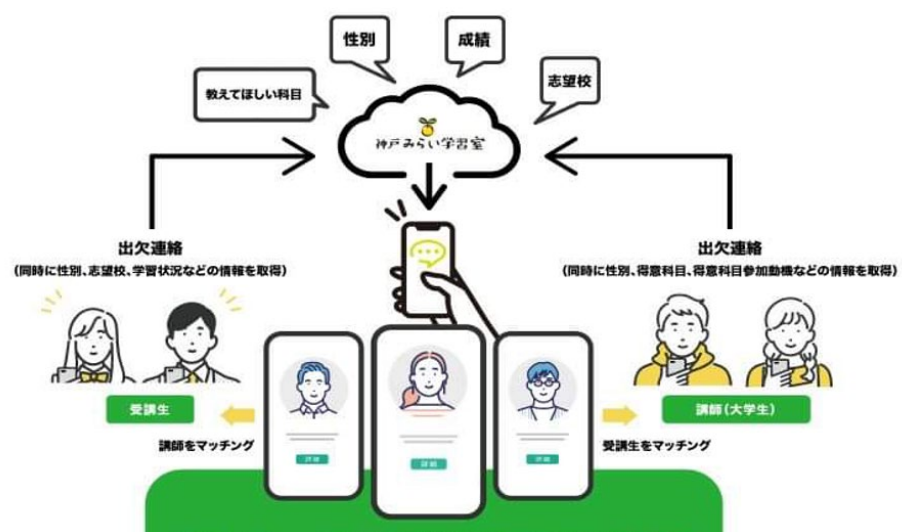
- ・企業の経営者や社員に登壇者を拡大。12回開催予定。



夢ゼミの風景

② 出欠管理とマッチングシステムの構築：

- ・生徒と講師の性格、教えてほしい・教えられる科目、家庭状況、学力レベル、部活・趣味などの情報に基づき、講師と受講生の最適マッチングを実施。
- ・東京大学マーケットデザインセンター（UTMD）、(株)テラアクソン（AI 開発企業）と共同し、生徒と講師の相性を最大限に高める最適アルゴリズムに基づいてリアルタイムで最適なマッチングを行うアプリを開発中。



③ 外部模試への参加（受験料助成の導入）：

- ・8月、10月、1月に、模試に参加し、本番経験を提供。

#### ④ 受験生への支援：

- ・ 受験校の過去問題集の提供
- ・ 論文指導、模擬面接（公立推薦の対応）
- ・ 論文対策 12～1 月（講師による論文（過去問）の添削指導）
- ・ 面接対策 1～2 月（講師による模擬面接指導）
- ・ 進路相談 8 月～12 月（専門家・担当講師による 3 者面談）

#### ⑤ 保護者面談（6～8 月頃）、日常的な相談支援

#### ⑥ 発達特性のある子ども支援：

- ・ 専門家による個別プログラムの作成、講師へのフィードバック（10 回）

#### ⑦ 高校生の受け入れ開始：

- ・ 高校生支援を開始。中学生と同様、毎週最適なマッチングを行った上で個別の学習支援を実施。
- ・ 進路指導の専門家との面談を踏まえ、担当講師との 3 者面談も行いながら、論文指導や模擬面接、特に高校生には志望大学別の受験科目（化学・物理）に対応できる講師をマッチングし対応。
- ・ さらに難関大学を目指す高校生には、NPO キッズドアが垂水区に開設した下村龍馬塾と連携して受け入れてもらい多面的な連携支援も実施。
- ・ 発達特性（自閉症など）や重度障害を持つ高校生には、長年不登校専門の高校で指導してきた公認心理士によるカウンセリングを行い、その方針を講師・スタッフと共有しながら支援を実施。

### （4）情報発信

- ① Facebook の配信：神戸みらい学習室（平成 29 年 12 月 開設）
- ② リーフレット（令和元年 5 月刊行）更新（2025 年 8 月 500 部）
- ③ メディアでの情報発信



令和 7 年 9 月 6 日 Facebook 投稿

「BEKOBEMetrolife 財団学習支援アワード」



令和 7 年 9 月 6 日朝日新聞

「学習支援シンポジウム全国大会 in 神戸」

### （5）他団体との連携

- ・ 神戸市学習支援協議会：平成 30 年 10 月 13 日、質の向上と量の拡大を目的に設立（8 年目）
- ・ 協議会加盟 30 団体に拡大
- ・ 「学習支援シンポジウム全国大会 in 神戸」の開催（令和 7 年 9 月 14 日 アンカー神戸）  
参加者：153 名（全国の学習支援団体、行政、企業など）  
内容：神戸市の取り組み紹介（神戸市こども家庭局）、専門家 4 名による基調講演、パネルディスカッション、グループディスカッションなど



神戸みらい学習室  
公式 Facebook



神戸みらい学習室  
公式ホームページ



「学習支援シンポジウム全国大会 in 神戸」の様子

#### 【NPO との連携】

- ・ 毎月最終土曜日に協議会の定例会を開催
- ・ 一般社団法人全国子どもの貧困・教育支援団体協議会（令和 2 年度加盟）と全国シンポジウム共催実施（協議会青砥代表講演）。
- ・ 新公益連盟（2024 年に加盟）との連携（経済同友会）  
11 月 24 日、25 日西神オリエンタルホテルにて合宿参加。12 月 12 日ダイアログ参加
- ・ NPO フローレンス LINE 相談「よりそいチャット」より生徒募集
- ・ NPO キッズドアとの連携（ハイレベル高校生支援の開始、神戸みらい 2 名）
- ・ 議員視察・インターンシップ受入れ

#### 【神戸市との連携】

- ・ 市事業「ばらくる」でのボランティア講師の紹介(2024 年 12 月～)
- ・ 市事業「地域貢献応援フェア」スタッフ募集への出展（2025 年 1 月 26 日）
- ・ 市事業「学びへつなぐ地域型学習支援（令和 3 年 10 月～）」での講師募集

#### 【企業との連携】

- ・ 一般財団法人藤井幸男記念・教育振興会よりドンクパンの差し入れ（毎月最終日曜）
- ・ 全国シンポジウム協賛（株アベストコーポレーション）
- ・ マッチングアプリの開発
- ・ 伴奏支援（デロイト トーマツ税理士法人）
- ・ 夢ゼミに講師登壇

#### 【大学との連携】

- ・ 神戸市外国語大学より教室提供、講師紹介、神戸大学での講演、講師紹介
- ・ 8 月 26 日神戸市外大・神戸高専の学生及び神戸市内の中高生と ALT との交流機会の創出
- ・ 東京大学マーケットデザインセンター（UTMD）とのアルゴリズム学術指導契約締結
- ・ 神戸大学にてキャリアデザイン講演（2026 年 1 月 9 日）

### 3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

#### 【本活動から得られたもの】

市内 2 拠点での継続的な無料学習支援に加え、専門家による発達支援方針や大学生講師による「夢ゼミ」を通じ、生徒の学習意欲と自己肯定感を高める「質の高い居場所」を実施しています。また、全国から 153 名が参加するシンポジウムを開催し、支援団体のネットワーク拡大に寄与しました。

#### 【反省点と課題】

高校生への支援をはじめたことから受講生が増加しており、それに伴い対応するボランティア講師

の確保およびその謝金を安定的に賄うための資金調達の強化が急務ですが、運営コアスタッフは本業をしながらの活動であり、ファインドレイジング活動が十分にできていないという課題があります。

#### 【今後への発展性】

専門機関の学術指導に基づく「最適マッチングシステム」を使い勝手の良いものに多機能化し、全国の学習支援団体へ無償で展開することで、支援団体の事務負担の軽減を図るとともに、支援の質の向上を目指します。また高校生への支援強化、ならびに夢ゼミの内容を拡充していきます。

#### 4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

<今年度の大学合格者の支援例より>

- 脳性麻痺で重度障害の Aさんは、母子家庭で中2生からみらい学習室に通い、高校進学を目指していましたが、学校の先生の勧めもあって特別支援学校へ。しかし管理栄養士の夢をあきらめきれず、また特別支援学校への違和感から単位制の高校に転校し直しました。そして車いすでも受け入れ可能な大学を自ら関西中の大学を訪問して探し出しました。社会人講師総出でプレゼンや模擬面接など手厚い受験対策を行った結果、見事、志望大学に合格できました。
- 自閉症の Bさんは、母子家庭で中学3年生よりみらい学習室に通っています。相性の合う専門科目にも対応できる講師とは次第に心を開き学力も向上、見事、難関の志望大学に合格しました。合格後は自信と希望に満ち溢れ、積極的に周囲の社会人講師とコミュニケーションを図るようになりました。当該大学は無償であり、希望の専攻で大学院まで進む予定です。
- 中学2年生から通っていた母子家庭の Cさんは、看護師学校受験のために高3よりみらい学習室に通いはじめました。看護学校専門の過去問を見つけて購入し支援を行った結果、合格することができました。

#### 5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリにて「S」が付されている団体）

<神戸市外国語大学 国際関係学科 准教授 中嶋 圭介>

生徒と講師のマッチングを毎週欠かさず丁寧に行った上でマンツーマンに近い形で学習支援を行ってこられたことに感銘いたします。また、それを全国に普及するため、各界最先端の産官学が協力して多機能のマッチングアプリの開発に挑まれており、私も現場を拝見する度に、子ども達の真剣なまなざしと講師の熱い伴走の姿勢に胸を打たれます。さらに、全国より第一線の学識者や活動家を招いてのシンポジウムは圧巻であり、全国の団体のネットワークを図る実り多いものでありました。今後も大学など関係機関と連携しながら積極的に地域社会の課題解決に向けた活動を期待しています。